

## 今後5年間の財政予測

後期基本計画における財政収支の予測は、次のとおりです。この計画の事業費については、主に一般行政経費が充てられます。

なお、この財政予測は、平成17(2005)年度に把握できる範囲であり、平成18(2006)年度に詳細が確定する三位一体の改革や、今後の社会経済情勢により大きく変動する可能性があります。

今後5カ年間の財政収支の予測(普通会計)

単位：百万円

		18年度推計	19年度推計	20年度推計	21年度推計	22年度推計
歳入	市税	48,208	49,389	48,980	48,086	48,361
	国・県支出金	10,067	10,294	10,513	10,734	10,957
	市債	5,054	1,864	1,745	1,745	1,745
	その他	11,921	11,070	10,811	10,884	10,957
	歳入合計	75,250	72,617	72,049	71,449	72,020
歳出	人件費	22,471	22,755	22,807	22,664	22,360
	公債費	7,177	7,560	7,718	7,596	7,396
	扶助費	13,054	13,635	14,041	14,453	14,843
	一般行政経費等	32,548	28,667	27,483	26,736	27,421
	歳出合計	75,250	72,617	72,049	71,449	72,020

過去5カ年間の決算額及び決算見込額(普通会計)

単位：百万円

		13年度決算	14年度決算	15年度決算	16年度決算	17年度見込
歳入	市税	50,142	49,294	48,047	47,964	48,286
	国・県支出金	12,316	10,459	9,636	10,283	9,888
	市債	8,103	12,152	11,041	6,813	5,399
	その他	20,274	19,601	15,933	17,728	15,850
	歳入合計	90,835	91,506	84,657	82,788	79,423
歳出	人件費	22,038	21,878	21,757	22,010	22,178
	公債費	5,965	6,312	6,376	6,032	6,343
	扶助費	8,706	9,631	10,761	11,880	12,495
	一般行政経費等	49,154	49,811	40,951	38,159	36,877
	歳出合計	85,863	87,632	79,845	78,081	77,893

## III 横断的に取り組む主要課題

後期基本計画では、複数の章にまたがって提起された課題について総合的に取り組むため、基本構想に示した「21世紀の展望と課題」をふまえ、本市の特性を勘案し、次の4つを「横断的な主要課題」として掲げました。

### 1 新たな地域コミュニティの構築

基本構想に掲げる「みんなでつくる」というまちづくりの原点は、活力ある地域づくりにあります。市民意識調査(H15)の結果では、地域を良くするために約7割の人が協力意向を示しています。

市民が最も望んでいる「安全・安心なまち」をはじめ、福祉、教育、子育て、環境などのさまざまな地域課題を解決するため、地域の連帯や協力といった「地域力」を高め、「地域のことは地域で決める」仕組みづくりに向けて、「新たな地域コミュニティの構築」を横断的な主要課題に選択しました。

### 2 総合的な子ども支援の推進

少子高齢化の進展はさまざまな分野に影響を与えています。福祉施策はもとより、男女共同参画や労働環境、生涯学習、学校教育など、多くの側面から対策を講じる必要があります。

「こどもは市の宝である」と明記した市民憲章に基づき、子ども自身の健やかな成長や、子育て世代、さらにはこれから親になろうとする青少年に対する施策も重要です。

また、これらの取り組みには地域の連携・協力も不可欠であることから、「総合的な子ども支援」を横断的な主要課題に選択しました。

### 3 ユニバーサルデザインの取り組み

ユニバーサルデザインは、障害の有無、年齢、性別、国籍などに関わらず、すべての人が心豊かに暮らせるような社会を創っていかうとする考えです。

市では、これまでノーマライゼーションの観点から、バリアフリーの取り組みを進めてきましたが、今後は、「21世紀は人権の世紀」とも言われる社会的なニーズをふまえ、公共サービスの実施や公共施設の建設などをはじめとするすべての行政分野で「ユニバーサルデザインの取り組み」を進めるため、横断的な主要課題に選択しました。

### 4 地域からの地球温暖化対策の促進

地球温暖化の問題は、世界全体の問題です。しかし、その解決には、基本構想に掲げる「地球から所沢へ、所沢から地球へ」に基づく取り組みが重要です。

本市は、国際認証規格ISO14001の取得や学校版環境ISOをはじめ、さまざまな先進的な施策を進めてきました。また、市民の関心も高く、ごみの分別やリサイクルなど積極的に取り組まれ、「環境先進都市」という高い評価を得ています。こうした環境問題への姿勢や取り組みを継続発展させることは本市の責務と考え、「地域からの地球温暖化対策」を横断的な主要課題に選択しました。

# 1 新たな地域コミュニティの構築

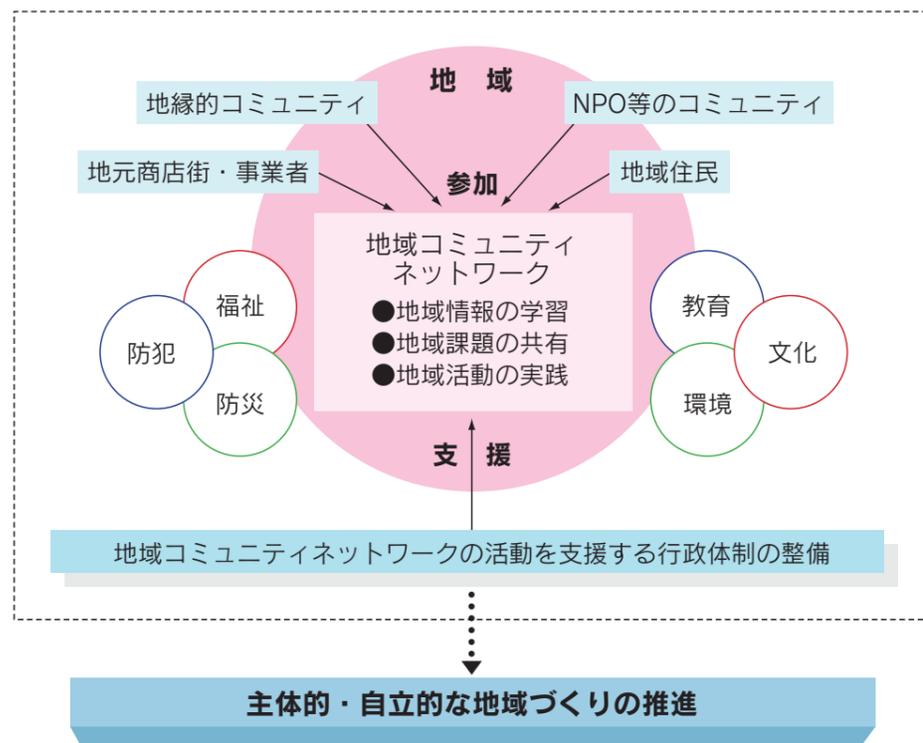
少子高齢化の進展とともに、来るべき人口減少社会の到来を見据え、活力ある地域づくりを支えるコミュニティのあり方が問われています。

今、地域では、これまで長年にわたり共助組織としての機能を果たしている自治会・町内会などの地縁的なコミュニティに加え、活動目的を明確にしたNPOやボランティア団体などのコミュニティ組織によってさまざまな活動が営まれています。今後は、これらのコミュニティが連携し、互いの活動や情報を共有しながら、防犯、防災、教育、福祉、環境など幅広い視点から地域の課題に取り組んでいく「新たな地域コミュニティネットワーク」の構築が重要な課題となっています。

また、地域と市政をつなぐ行政体制を整備し、「新たな地域コミュニティネットワーク」の活動を支援しながら、地域声を集約し、的確に市政に反映させる仕組みづくりを通じて、地域の主体的・自立的な活動を支援していくことも必要です。

こうした基本的な考え方に基づき、地方分権の本旨である「住民自治の充実」を図るため、地域と市が協力しながら「新たな地域コミュニティの構築」に計画的に取り組んでいきます。

【新たな地域コミュニティの構想／基本概念図】



## 今後5年間の取り組み方針

### 1 地域コミュニティネットワークの構築

地域の自治会・町内会を中心に、各種のボランティア団体や有志住民、地元企業、商店街など、地域を構成する多様な団体や個人が集い、地域情報の共有や地域課題の解決に向けた主体的な取り組みを担う「地域コミュニティネットワーク」の構築を進めます。

#### 当面する地域課題（例）

地域で支え合う福祉のあり方、地域環境の保全対策、ごみの資源化・減量化対策、学校と地域・家庭の連携、地域ぐるみの子育て支援、地域の防犯・防災体制整備地域の実情を把握するための「地域コミュニティマップ」作成など

### 2 地域コミュニティ事業の推進

少子高齢社会が進展する中、いわゆる団塊の世代をはじめ、地域づくりに積極的に関わろうとする主体的な人材の活用が、さまざまな地域活動やコミュニティビジネスの担い手として期待されています。

地域コミュニティ事業は、地域コミュニティネットワークを基盤として、人々の豊富な経験や知識、技術を活かし、地域社会に積極的に参加できるようなシステムづくりを通じて、地域の中に「生きがい」や「働きがい」の場を創出し、新たな活動の場や事業機会の提供をはかります。

#### 地域コミュニティ事業（例）

福祉事業（給食サービス、在宅介護、外出移送、買物代行、家事援助など）  
環境事業（リサイクル事業、リサイクルショップ運営など）  
子育て支援事業（保育サービス、親子のふれあい、親のネットワークづくりなど）

### 3 行政体制の整備

地域コミュニティネットワークによる主体的な地域づくりを支援するため、出張所と公民館の役割と機能を検討し、活力ある地域づくりの受け皿となる「地域コミュニティ拠点施設」として、体制の整備をはかります。

## 主体的・自立的な地域づくりの展開

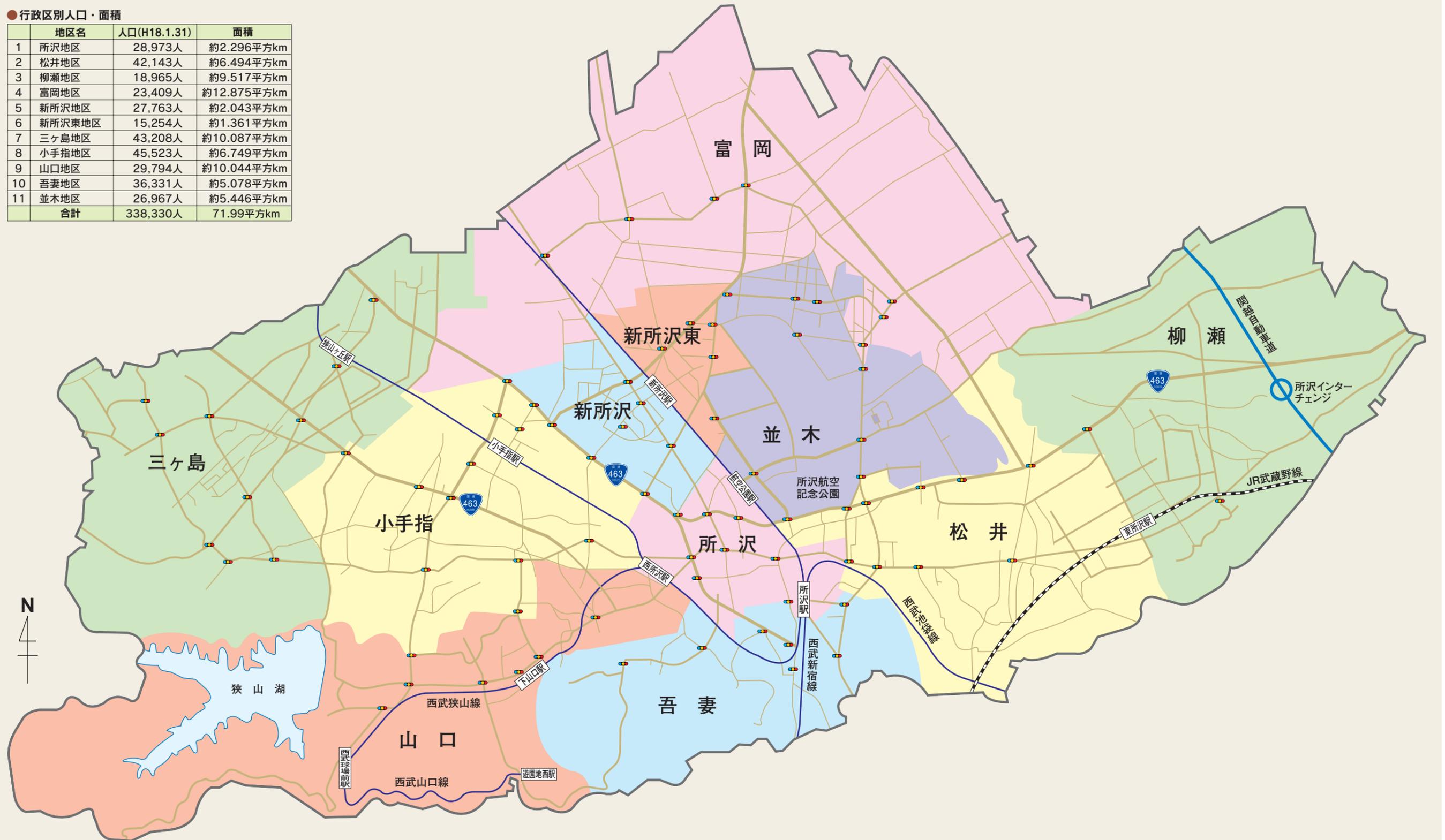
期待される効果

- 地域課題の解決に向けた団体・事業者・住民の連携協働
- 地域のニーズに即した新たな活動や事業機会の創出
- 生きがい・働きがいの場の提供
- 地域と行政の新たな協働関係の構築

# 所沢市の行政区

● 行政区別人口・面積

	地区名	人口(H18.1.31)	面積
1	所沢地区	28,973人	約2.296平方km
2	松井地区	42,143人	約6.494平方km
3	柳瀬地区	18,965人	約9.517平方km
4	富岡地区	23,409人	約12.875平方km
5	新所沢地区	27,763人	約2.043平方km
6	新所沢東地区	15,254人	約1.361平方km
7	三ヶ島地区	43,208人	約10.087平方km
8	小手指地区	45,523人	約6.749平方km
9	山口地区	29,794人	約10.044平方km
10	吾妻地区	36,331人	約5.078平方km
11	並木地区	26,967人	約5.446平方km
	合計	338,330人	71.99平方km



## 2 総合的な子ども支援の推進

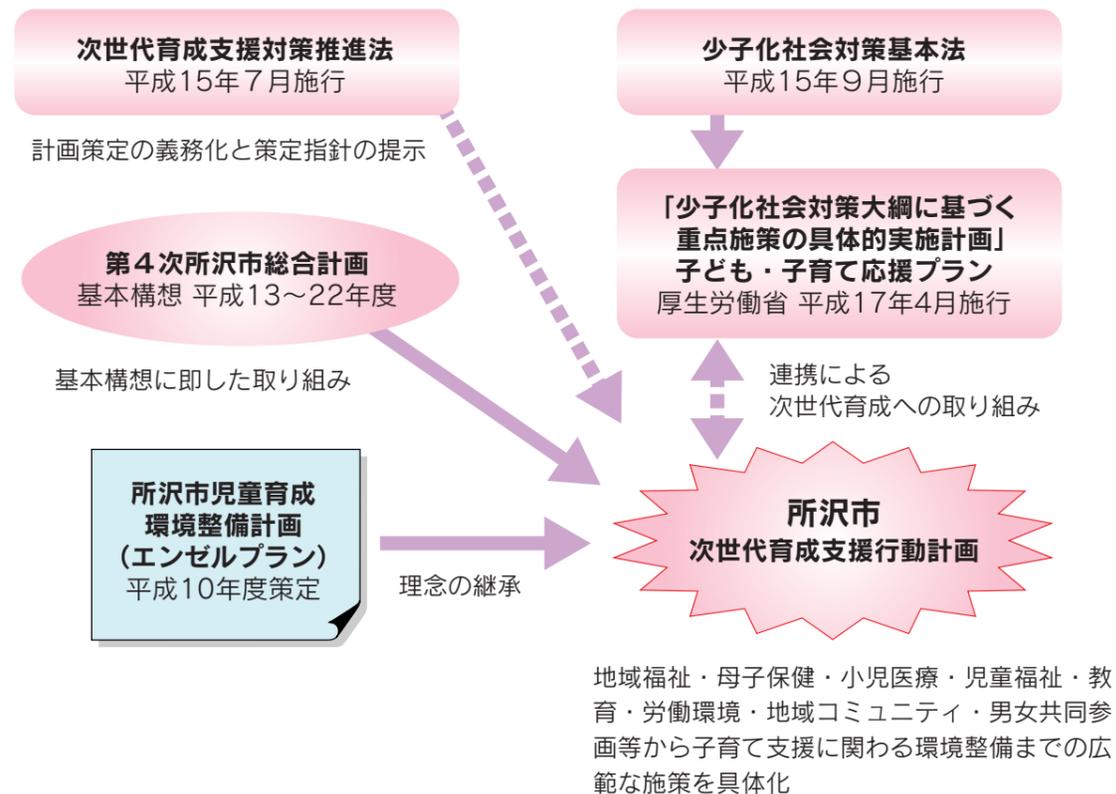
全国的な少子化の中で、本市の合計特殊出生率は、平成16(2004)年度に1.14人となり、国1.29人、県1.20人を下回っています。また、核家族化の進行や地域コミュニティの希薄化などにより、子どもたちを取り巻く環境が急速に変化し、育児の孤立化や児童虐待などさまざまな問題が起こっています。こうした問題に対応するために、親をはじめ、行政や地域、事業者など社会全体で子どもたちをはぐくんでいくことが求められています。

市全体の平均年齢が41歳という「働き盛り」「子育て盛り」の若い世代が多い本市では、「子どもは市の宝」と市民憲章に掲げ、これまでも福祉や医療の分野をはじめ、教育、青少年育成、男女共同参画など、さまざまな視点で子育て支援施策を進めてきました。

そして、これからも子どもたち自身の健やかな成長を第一の目的とし、「子ども支援」の取り組みを総合的に進めるために、「所沢市次世代育成支援行動計画(ところっこ・すくすくサポートプラン)」を平成17年3月に策定しました。

今後は、これまでの子育て家庭への支援という考え方から一歩踏み込み、子どもたちが健やかに成長していくための制度や環境の整備を、市民、NPO、大学、事業者との協働により進めます。親がゆとりをもって子どもをはぐくみ、地域にいきいきとした活力を生み出すとともに、次代を担う子どもたちが地域に愛着を持てるまちづくりをめざし、総合的な子ども支援施策を進めます。

### 【計画の位置づけ】



## 今後5年間の取り組み方針

子どもたちが、地域に愛着を感じながらたくましく、健やかに成長していけるまちづくりを基本的な理念として、今後5年間においては下記の4つの施策を重点的に取り組んでいきます。

### 1 子育て情報の共有化と情報提供の充実

子育てに関する制度・サービス、市の取り組みなどを、広報ところざわや情報冊子、市ホームページ等により情報を一元的に発信することで情報入手の利便性向上をはかります。また、担当部署間における情報の共有化を徹底し、円滑な事業運営を実現します。

### 2 大学の協力による専門的対応の充実

高等研究・教育機関である大学の協力により、専門的知識の行政運営への活用、学習支援員やボランティアスタッフなど学生の派遣による決め細やかな対応の充実を進めていきます。

### 3 保育待機児童への対策

受入数拡大による待機児童解消に合わせ、就労環境の改善など子育てに対する社会全体の理解を高める働きかけを通して、育児休業の対象年齢拡大や取得率向上、男性の子育て参加の促進などをはかり、潜在的な保育待機児童の解消にも取り組みます。

### 4 放課後の子どもたちの居場所づくり

公園や児童館などの遊び場や、大人の見守りの中で過ごせる場所を確保することで、親の目が届きにくくなる放課後の時間帯に、子どもたちが安全で安心して過ごせる居場所づくりを進めます。

### 次世代育成支援行動計画の概要

#### ●基本理念

みんなの宝“子どもたち”を健やかにはぐくむまち“ところざわ”

#### ●基本目標

#### I 子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします

子どもたちの  
知識・能力の育成

ホームタウンとしての  
家庭・地域づくり

#### II 子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます

すべての  
子育て家庭への支援

仕事と子育ての  
両立の推進

#### III 子どもたちが安心して健やかに暮らすための環境をつくります

子どもたちの  
人権と権利の保護

子育てに  
快適な環境づくり

# 子育て支援施設一覧

● 保育園・幼稚園・児童館・公民館・図書館・相談機関

## ● 保育園

地区	区分	施設名	表示番号	地区	区分	施設名	表示番号
所沢	市立	所沢保育園	1	三ヶ島	市立	三ヶ島保育園	25
	法人	わかたけ保育園	2		法人	なかよし保育園	26
	法人	わかたけ元町保育園	3		法人	第二なかよし保育園	27
新所沢	市立	新所沢保育園	4	市立	さやまが丘保育園	28	
	市立	つぼみ保育園	5	法人	みどり保育園	29	
	法人	向陽保育園	6	法人	優々保育園	30	
新所沢東	法人	泉町保育園	7	法人	優々の森保育園	31	
	市立	北所沢保育園	8	法人	桑の実保育園	32	
	法人	アンドレア保育園	9	法人	あかね保育園	33	
並木	市立	並木保育園	10	市立	西新井保育園	34	
	市立	中新井保育園	11	市立	松井保育園	35	
	法人	ひまわり保育園	12	市立	安松保育園	36	
富岡	市立	富岡保育園	13	法人	太陽園	37	
	法人	陽明保育園	14	市立	松郷保育園	38	
	法人	双美保育園	15	法人	れんげ保育園	39	
吾妻	市立	吾妻保育園	16	市立	柳瀬保育園	40	
	市立	北秋津保育園	17	法人	東所沢たんぼ保育園	41	
	法人	くすのき台保育園	18	公設民営	東所沢保育園	42	
山口	市立	山口保育園	19				
	市立	山口西保育園	20				
小手指	市立	西所沢保育園	21				
	市立	小手指保育園	22				
	法人	北野保育園	23				
法人	向陽保育園分園	24					

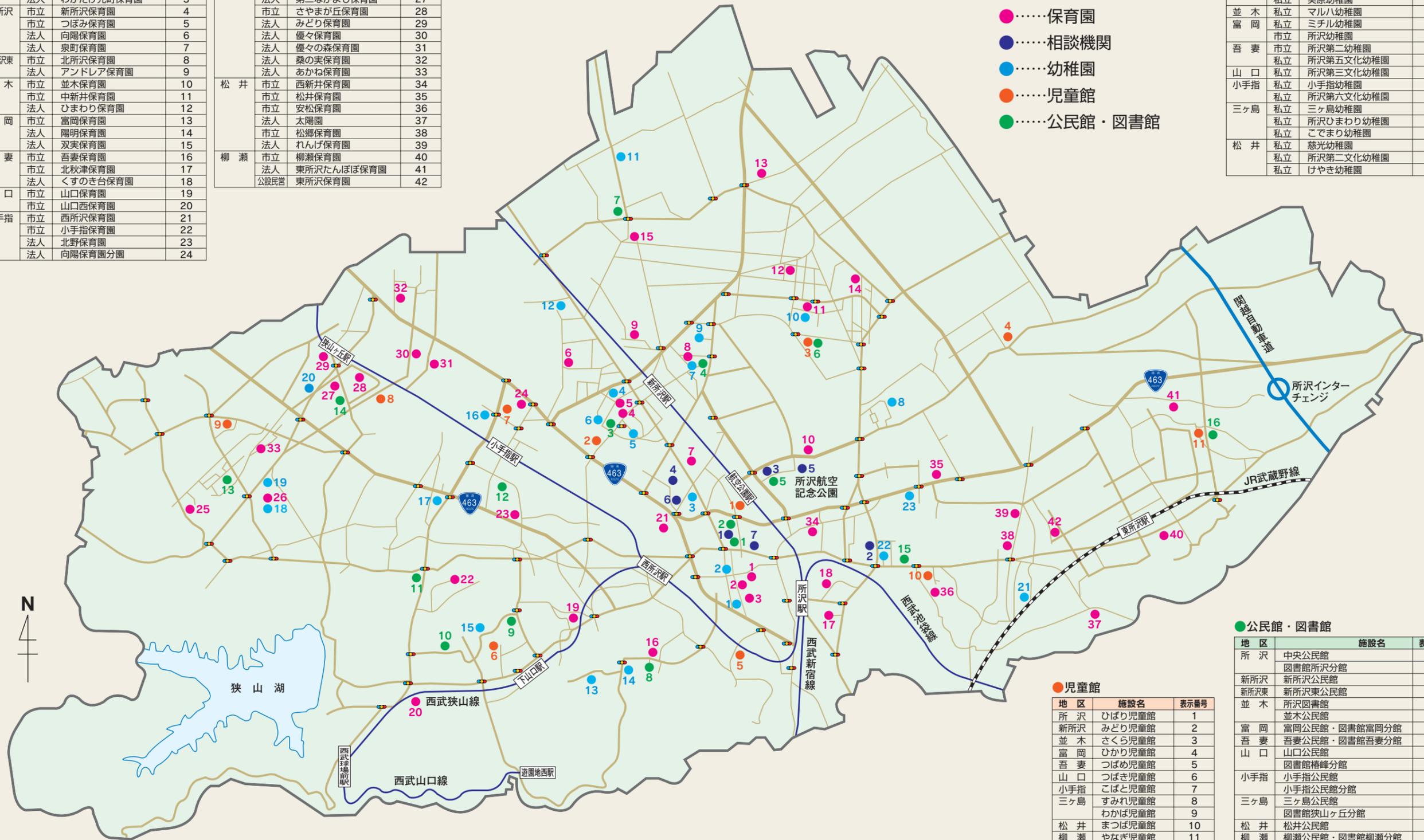
## ● 相談機関

名称	表示番号
所沢市ファミリー・サポート・センター	1
保健センター 母子保健課	2
所沢市役所 子ども支援課	3
教育センター	4
埼玉県所沢児童相談所	5
埼玉県所沢保健所	6
男女共同参画推進センターふらっと	7

## ● 幼稚園

地区	区分	施設名	表示番号
所沢	私立	所沢文化幼稚園	1
	私立	所沢富士幼稚園	2
	私立	所沢中央文化幼稚園	3
新所沢	私立	新所沢富士幼稚園	4
	私立	新所沢こひつじ幼稚園	5
	私立	所沢若草幼稚園	6
新所沢東	私立	新所沢幼稚園	7
	私立	すずらん幼稚園	8
	私立	美原幼稚園	9
並木	私立	マルハ幼稚園	10
	私立	所沢幼稚園	11
富岡	市立	ミチル幼稚園	12
	市立	所沢第二幼稚園	13
吾妻	私立	所沢第五文化幼稚園	14
	私立	所沢第三文化幼稚園	15
山口	私立	所沢第六文化幼稚園	16
	私立	三ヶ島幼稚園	17
小手指	私立	所沢ひまわり幼稚園	18
	私立	こでまり幼稚園	19
	私立	慈光幼稚園	20
三ヶ島	私立	所沢第二文化幼稚園	21
	私立	所沢第一文化幼稚園	22
	私立	けやき幼稚園	23

- …… 保育園
- …… 相談機関
- …… 幼稚園
- …… 児童館
- …… 公民館・図書館



## ● 児童館

地区	施設名	表示番号
所沢	ひばり児童館	1
新所沢	みどり児童館	2
並木	さくら児童館	3
富岡	ひかり児童館	4
吾妻	つばめ児童館	5
山口	つばき児童館	6
小手指	こぼと児童館	7
三ヶ島	すみれ児童館	8
	わかば児童館	9
松井	まつば児童館	10
柳瀬	やなぎ児童館	11

## ● 公民館・図書館

地区	施設名	表示番号
所沢	中央公民館	1
	図書館所沢分館	2
新所沢	新所沢公民館	3
新所沢東	新所沢東公民館	4
並木	所沢図書館	5
	並木公民館	6
富岡	富岡公民館・図書館富岡分館	7
吾妻	吾妻公民館・図書館吾妻分館	8
山口	山口公民館	9
	図書館椿峰分館	10
小手指	小手指公民館	11
	小手指公民館分館	12
三ヶ島	三ヶ島公民館	13
	図書館狭山ヶ丘分館	14
松井	松井公民館	15
柳瀬	柳瀬公民館・図書館柳瀬分館	16

### 3 ユニバーサルデザインの取り組み

ユニバーサルデザインは、「基本的人権の尊重」を基本理念として、障害の有無、年齢、性別、国籍、人種などにかかわらず、すべての人が心豊かに暮せるような社会を創っていこうとする考え方で、1990年代の初頭、元ノースカロライナ州立大学のロン・メイス教授が提唱し、その後、先進諸国に広がりました。

ユニバーサルデザインには、施設、物(製品)、環境などの目に見えるものから、サービスやシステムなどの目に見えないものまで多岐にわたっています。

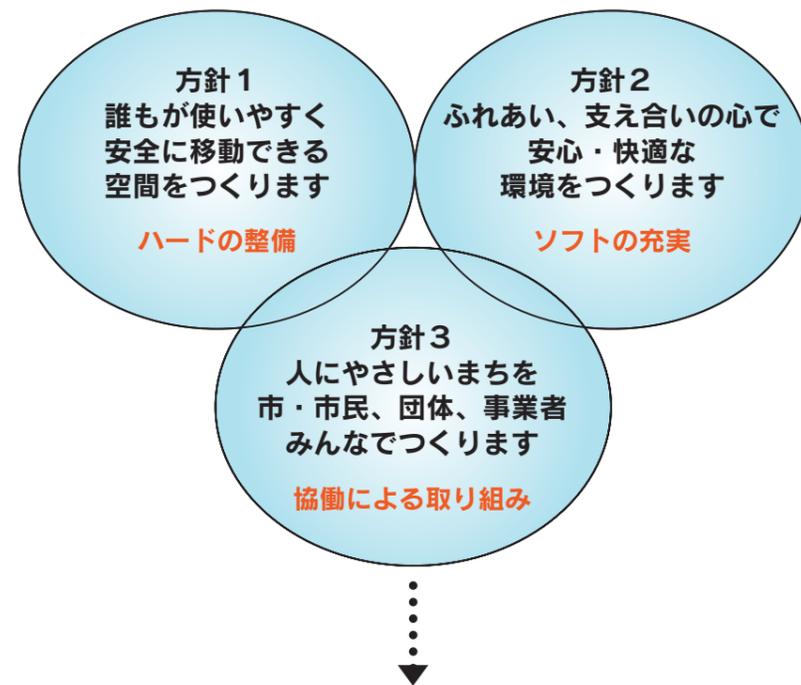
本市ではこれまで、「所沢市障害者計画」等で、ノーマライゼーションの社会を実現するための一方策として、社会に存在するさまざまなバリアを取り除くことを目的としたバリアフリー施策に取り組んできました。平成16(2004)年3月には「所沢市交通バリアフリー基本構想」を策定し、公共交通機関を利用した円滑な移動を確保するため、鉄道駅、駅前広場や周辺道路の改善をはじめ、バリアフリーに関する多様な事業を展開しているところです。

今後は、こうしたバリアフリーへの取り組みを基盤として、さらに誰もが参加しやすく、暮らしやすい社会をめざして、ユニバーサルデザインの考え方をふまえた施策を推進します。

#### 【交通バリアフリー基本構想の概要】

移動円滑化の目標

誰もが安心 どこでも安全 心のバリアフリータウン所沢

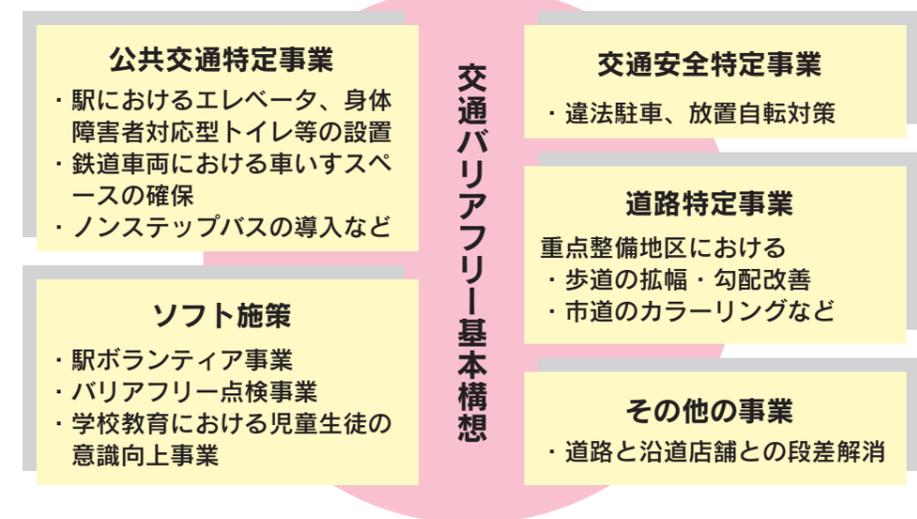


ユニバーサルデザインの考え方をふまえた施策の推進

### 今後5年間の取り組み方針

#### 1 交通バリアフリー基本構想に基づく取り組み

所沢駅、航空公園駅、新所沢駅及び西所沢駅周辺を一体とした約696haを重点整備地区に位置づけ、旅客施設、周辺の道路、駅前広場及び信号機等のバリアフリーを重点的・一体的に整備します。また、バリアフリーに対する意識を高めるための啓発活動や子どもに対する教育など、ソフト施策による心のバリアフリーを、市・市民、団体、事業者の適切な役割分担により進めます。



#### 2 ユニバーサルデザインの取り組み

ユニバーサルデザインの推進にとって最も重要なことは、事業を計画、構想する段階から、障害の有無や年齢、性別、国籍、人種などにかかわらず、“すべての人に対する配慮をもって進めていく”という考え方をもつことです。

私たちは誰もが高齢者となり、加齢にともなうさまざまな障害は、日常生活の不自由さを加速させます。その意味で、ユニバーサルデザインの推進は、私たち一人ひとりに共通する問題であるといえます。

市ではこうした考え方にに基づき、次の取り組みを進めます。

##### ユニバーサルデザインについての啓発の推進

生涯学習事業を通じて、ユニバーサルデザインの推進をテーマにした講座の開設や学習会の開催などにより、市民・事業者への啓発をはかります。

##### ユニバーサルデザインに配慮した計画づくり

市の計画策定にあたっては、ユニバーサルデザインに配慮した計画づくりに取り組めます。

##### 誰もが使いやすい公共施設づくり

新たな公共施設の整備、改修にあたっては、誰もが快適に安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりを進めます。

## 4 地域からの地球温暖化対策の促進

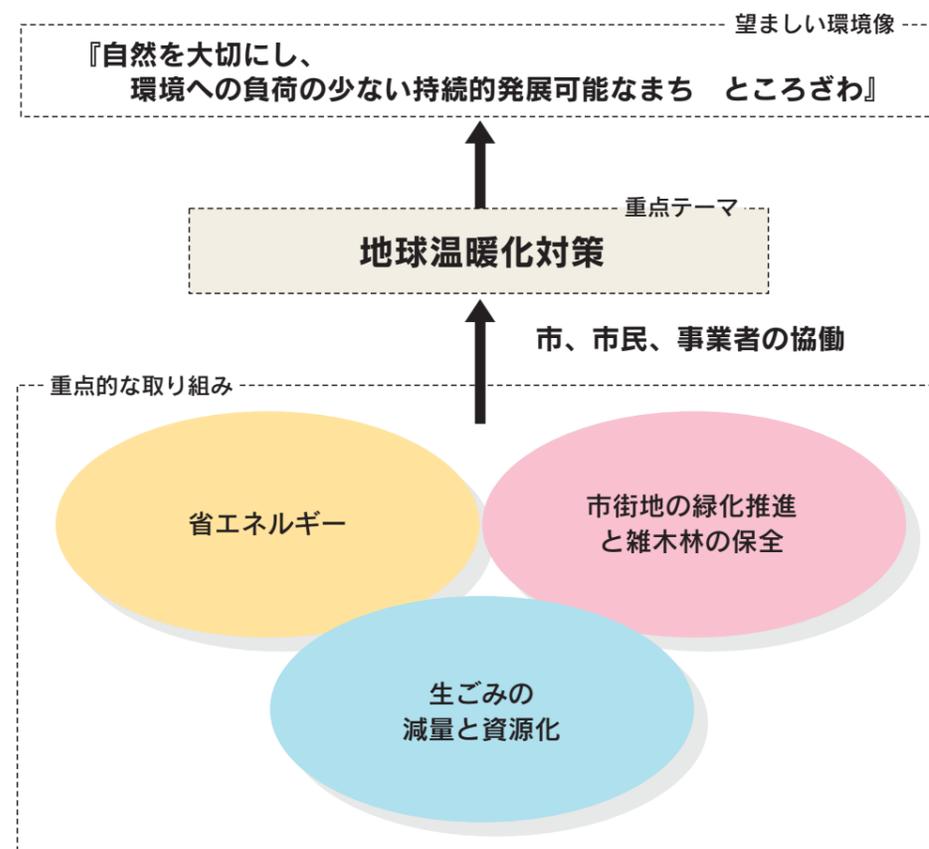
平成9(1997)年の地球温暖化防止京都会議で採択された京都議定書が平成17(2005)年2月16日に発効しました。地球温暖化問題は、地球全体の環境に極めて深刻な影響を及ぼすもので、私たち人類の存亡をかけて、この問題に取り組まなければなりません。

温室効果ガス6%削減の約束を守ることは、わが国の責任ですが、国全体で目標を達成するためには、地域の実情に最もあった取り組みをいかに地域が発想して主体的に推進できるかにかかっています。

本市では、平成18(2006)年3月に改定した「所沢市環境基本計画」の中で、望ましい環境像「自然を大切にし、環境への負荷の少ない持続的発展可能なまち ところざわ」の実現に向けて、「地球温暖化対策」を特に優先的に取り組むべき重点テーマと位置づけました。

地球温暖化には市民生活に起因するさまざまな側面があり、その解決のためには、市民や事業者一人ひとりの行動やライフスタイルを転換していくことや、多様な主体が協力して社会の仕組みを変えていく必要があります。

こうした方針に基づき、市民、事業者、市が共に考え、共に行動する「協働の取り組み」を進め、地球環境にやさしい循環型のまちづくりをめざします。



## 今後5年間の取り組み方針

### 1 「省エネルギー」の取り組み

市の省エネルギーのための基本計画である「地域省エネルギービジョン」と「エコ・モビリティのすすめ」の調査結果から明らかなように、市全体におけるエネルギー消費のうち、自動車や家庭によるものの割合が大きく、今後も増加が見込まれるため温暖化対策における重要課題になっています。

#### 具体的な取り組み

##### ●エコ・モビリティの推進

低燃費車・低公害車の導入促進、エコ・ドライブの推進、ノーマイカーデーの創設、公共交通機関の利用促進、歩いて楽しいまちづくりの推進、自転車利用の促進、渋滞の少ないまちづくり、物流の合理化支援など

##### ●省エネルギー対策の推進

市民の役割……家庭における省エネ活動の推進、環境学習への積極的な参加、住宅の省エネ化や省エネ機器の導入など  
 事業者の役割……事業活動における省エネの推進、事業所の省エネ化や省エネ機器の導入、敷地・壁面・屋上の緑化など  
 市の役割……家庭におけるエネルギー消費の実態調査、環境学習の機会提供、環境活動への財政的支援、行政活動における省エネ活動の推進など

### 2 「生ごみの減量と資源化」の取り組み

家庭から排出される「燃やせるごみ」の約5割を占める生ごみは、多くの水分を含んでいるため、収集・運搬や焼却の効率を低下させ、余分なエネルギーを消費します。生ごみの焼却を減らし、堆肥にするなど資源化をはかることは、温室効果ガスの抑制につながります。

#### 具体的な取り組み

##### ●生ごみの減量と資源化

市民の役割……生ごみの発生抑制、生ごみの適正な排出(水分を抜く等)、堆肥化など  
 事業者の役割……生ごみの発生抑制や資源化など  
 市の役割……生ごみの減量と資源化の普及促進、生ごみの資源化事業の実践、生ごみ処理機器の購入支援、地域循環の仕組みづくりの研究など

### 3 「市街地の緑化推進と雑木林の保全」の取り組み

樹木の緑は二酸化炭素の吸収源であり、緑地を保全しつつ緑化を進めることは温暖化対策やヒートアイランド対策として重要です。そのため、地権者、市民、市の協働によって、緑化推進と雑木林の保全が重要な課題となっています。

#### 具体的な取り組み

##### ●市街地の緑化推進

……建築物の壁面や屋上などの緑化推進、花とみどりの美しいまちづくりの推進、緑地協定の締結などによる住宅地の緑地化の推進

##### ●雑木林保全の推進

……市民、地権者、市との協働による雑木林の保全管理